

# 年頭あいさつ



市長  
小畑 元

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年は、気象観測史上例がないほどの台風が上陸、全国的に被害を及ぼし、本市においても浸水や冠水、落果などの被害が生じました。また、新潟県中越地震では、大規模な被害が発生しました。これら一連の災害に遭われた方々に対し、衷心よりお見舞いを申し上げます。

さて、迎えた本年は、本市にとって歴史に残る年となります。ご承知のとおり、比内町、田代町との1市2町が合併します。それに伴い、新市まちづくり事業が計画されています。

合併後の新市では、従来からの基幹産業である農業、林業の比重が増し、一層「農林業都市」の性格を帯びます。その農業は、昨年度からスタートした長期計画の「地域水田農業ビジョン」で変革を遂げることとなり、林業は、大館比内、北秋田、阿仁森吉、田代の4森林組合が合併し、広大な

面積を持つ森林組合が誕生します。

このほかに、増改築のための実設計がなされた市立総合病院は、いよいよリニューアルに向けて歩み出し、圏域住民の悲願であった4年制大学が開学となり、大館商業高校を母体とした県北で初の中高一貫教育校が、大館駅北側に開校します。

一方、雪沢地内で建設を進めていた、全国で初のPFI方式によるごみ焼却場が完成し、8月から本稼働します。また、平成19年に開催される秋田わか杉国体へ向け、整備してきた樹海公園の体育館や高館公園のテニスコートが完成し、今年8月・9月には第32回東北総合体育大会（通称、ミニ国体）が開催されます。さらに、日本海沿岸東北自動車道の大館小坂間の工事が本格化し、東バイパスも、桁架設工事に取り掛かり、その全容が見えてきます。

このように平成17年は、これまで計画してきた各種事業などが実を結び、この地域が大きく変わる年であり、次世代へ向け、新たな一歩を踏み出します。これからも、市民の皆さんの暮らしと安全を守り、輝かしい未来を築き上げるため、全力を尽くします。

